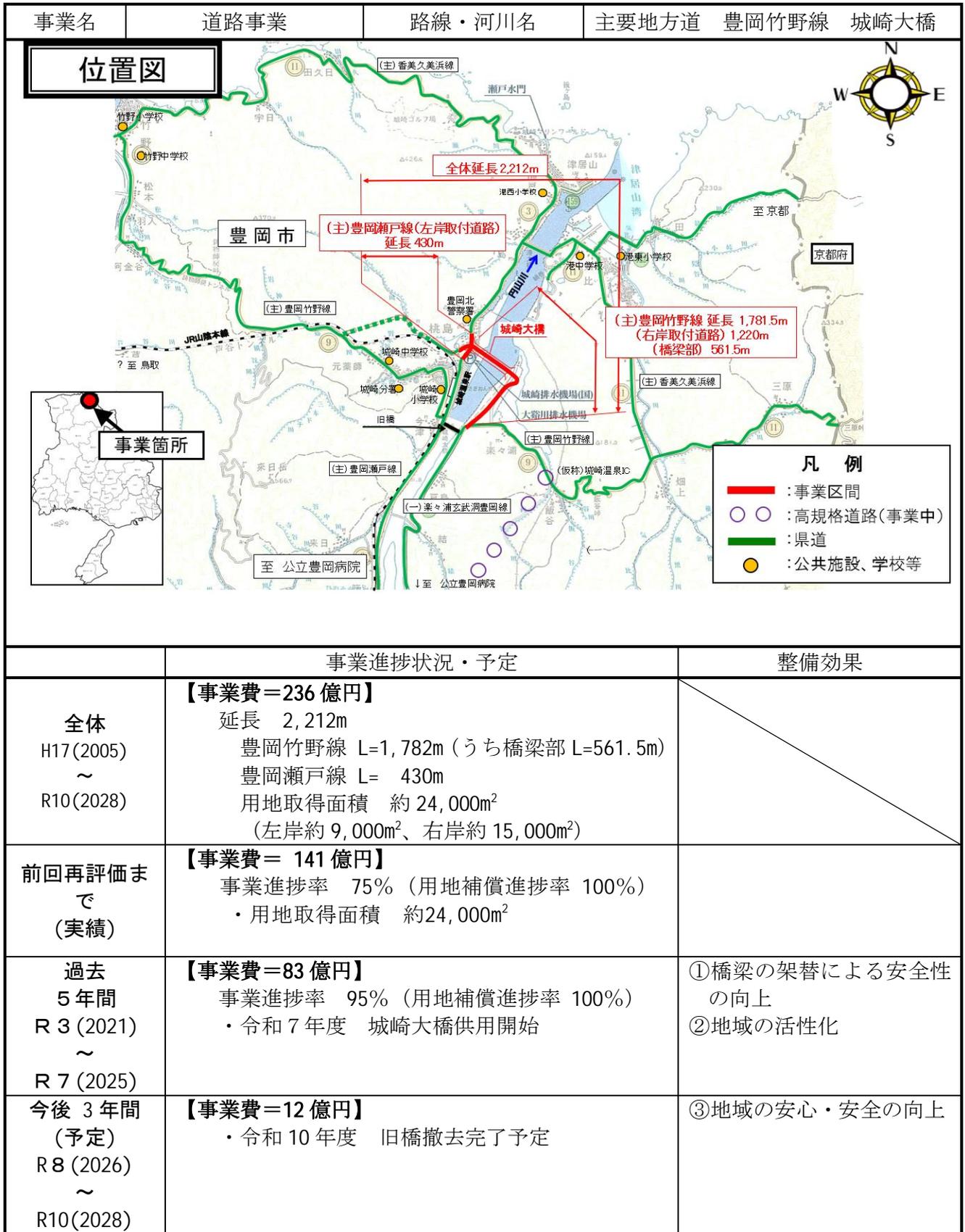


令和7年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第4回〕）

部課室名	道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 竹本 修 (県道班長 谷川 陽祐)	内線	75135 (75142)	
事業種目	道路事業	新規評価年度	平成12(2000)年度	現計画	前回評価時点	
事業名	主要地方道 豊岡竹野線 きのさき 城崎大橋	事業採択年度	平成17(2005)年度	総事業費	236億円 189億円	
		着工年度	平成17(2005)年度	内地地補償費	20億円 20億円	
		再評価年度	平成22(2010)年度 平成27(2015)年度 令和2(2020)年度	完成予定年度	令和10 (2028)年度 令和7 (2025)年度	
事業区間	豊岡市城崎町楽々浦～湯島 さ さ う ら ゆ し ま			令和6年度公共事業審査会で報告済		
				進捗率 (用補進捗率)	95% (100%)	75% (100%)
				残事業費	12億円	47億円
事業の目的				事業内容 () 前回評価時点		
<p>本路線は、但馬北部の東西交通を強化し、地域の交流を支え観光及び産業の発展に寄与する幹線道路である。</p> <p>○橋梁の架替による安全性の向上 橋梁の架け替えによる老朽化対策に加え、狭小幅員(4.5m)・大型車通行制限(10t)を解消し、交通の安全を確保する。</p> <p>○地域の安心・安全の向上 現橋は橋脚の間隔が基準より狭く(基準50m、現況10m)、低い橋桁が洪水の流下を阻害しているため、撤去し治水安全度を向上させる。また円山川出水時の道路冠水により通行止めとなる(主)豊岡瀬戸線の代替路を確保するとともに、公立豊岡病院(三次救急医療機関)へのアクセスを強化する。</p> <p>○地域の活性化 城崎温泉への玄関口にある城崎大橋の整備により、城崎温泉へのアクセスが強化され、地域の活性化に寄与する。</p>				<p>【延長】 2,212m うち橋梁部 561.5m</p> <p>【構造規格】 第3種第2級</p> <p>【幅員】 計画：2車線 片側自歩道3.5m 車道6.5m[全幅11.25m] 現況：1車線 歩道なし 車道4.5m[全幅4.5m]</p> <p>【計画交通量】 自動車：8,600台/日[R22年予測] (自動車：8,100台/日[R12年予測])</p> <p>【現況交通量】 自動車：613台/日[R3センサス] (自動車：629台/日[H22センサス])</p> <p>【負担割合】国：55%、県：45%</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>令和7年5月31日に城崎大橋が供用開始。 令和5年度より事業化された「山陰近畿自動車道 城崎道路」では、(仮称)城崎温泉ICの整備が城崎大橋近隣で予定されている。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 ①旧橋脚基礎杭の撤去撤去範囲の追加、警戒船台数の追加、軟弱地盤対策工の追加及び物価上昇により、事業費を47億円増額する。 ②軟弱地盤対策工の変更および増工、旧橋脚基礎杭の撤去範囲の追加により、完成予定年度を令和10年度に変更する。</p>					
進捗状況	<p>①進捗率は95%（事業費ベース）、用地取得率は100% ②城崎大橋が令和7年5月31日に供用開始。 ③令和7年秋より旧橋撤去開始。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
審査会意見及び 対応方針 (R2年度再評価)	【審査会意見】 継続妥当	【対応方針】 -				
(1)必要性	<p>①旧橋は、築69年の老朽橋(昭和31年架設)で幅員が狭い上、大型車の重量制限(10t)を行っているため、架け替えにより安全円滑な交通を確保する。 ②橋脚の間隔が基準より狭く(基準50m、現況10m)、低い橋桁が洪水の流下を阻害している。架け替えにより、治水安全度の向上を図る。 ③円山川の出水時の道路冠水により通行止めとなる(主)豊岡瀬戸線の代替路を確保し、公立豊岡病院(三次救急医療機関)へのアクセスを強化する。 ④事業中の「山陰近畿自動車道 城崎道路」の(仮称)城崎温泉ICへのアクセスルートであり、利便性の向上を図る。</p>					
(2)有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①地元の期待が高く、促進期成同盟会や女将の会より、早期完成の要望がある。 ②費用便益比 B/C=1.2(全体) (前回評価時点B/C=1.0)、B/C=26.9(残事業費)</p>					
(3)環境適合性	<p>①景観やコウノトリの飛翔等に配慮し、桁高が変化しリズム感を生み、橋梁上の構造物が少ない橋種を選定した。 ②山陰海岸国立公園区域内であるため、防護柵等の鋼製部材を景観に配慮した色で塗装する。 ③工事にあたり、生態系など周辺環境の保全対策を踏まえた施工計画を定め環境に配慮する。</p>					
(4)優先性	<p>①城崎温泉へのアクセスルートであり、豊岡市の「豊岡市大交流ビジョン」における交流人口増加の実現に不可欠。 ②洪水の流下を阻害している旧橋の架け替えは治水安全上の必要かつ優先性が高い。</p>					
再評価の結果	継続	左の理由	城崎大橋は供用開始したが依然として、旧橋が洪水の流下を阻害しており事業の必要性・有効性は変わっていないことから継続して事業を実施する必要がある。			

事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第4回〕）

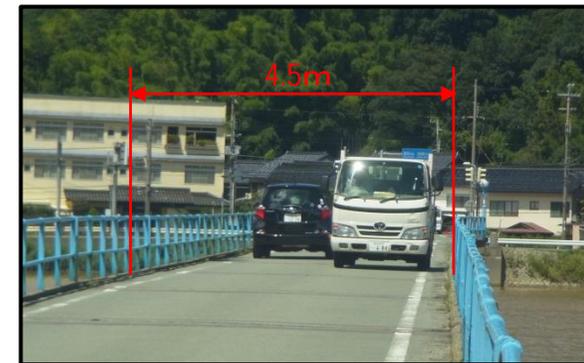


事業の必要性・優先性

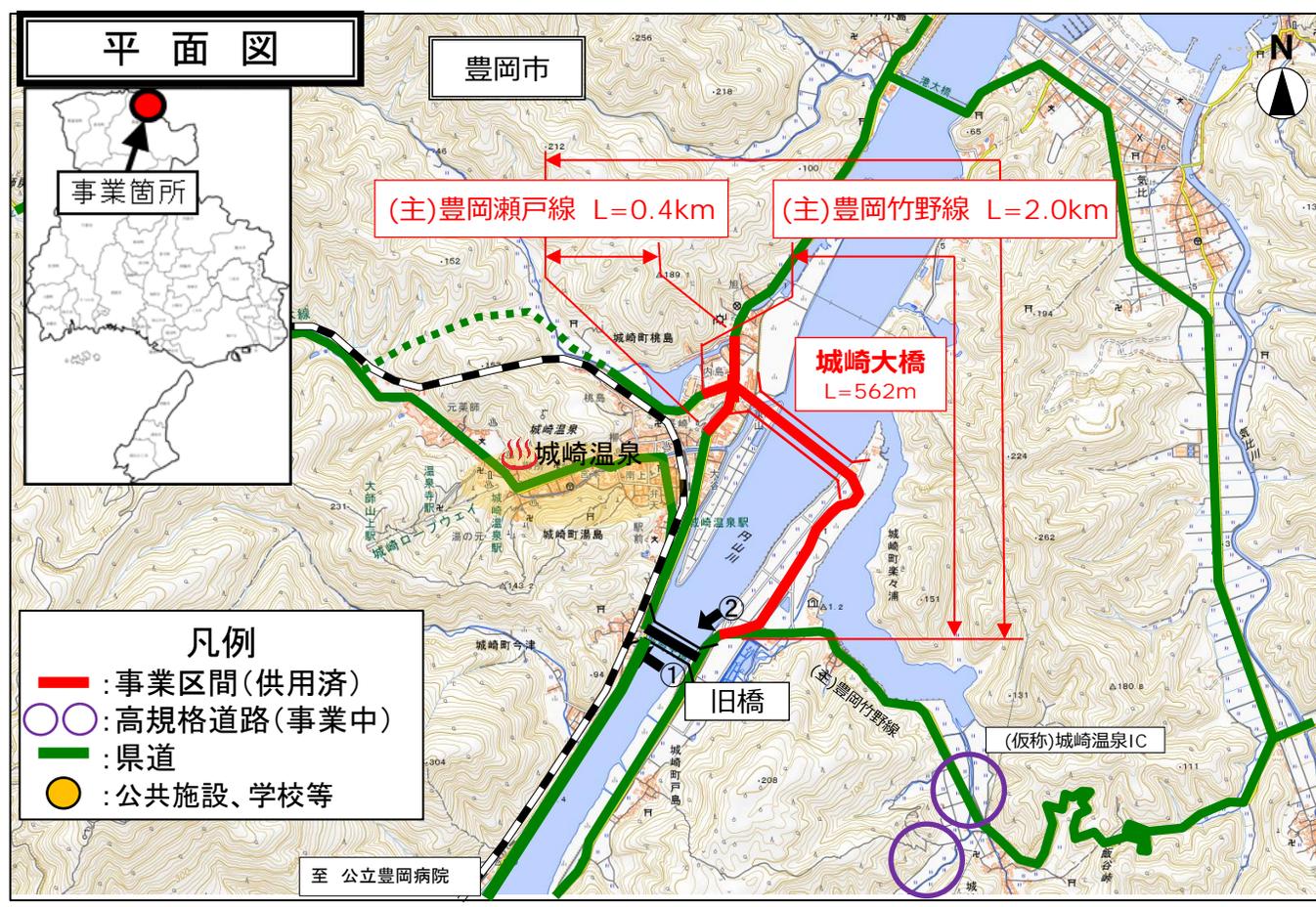
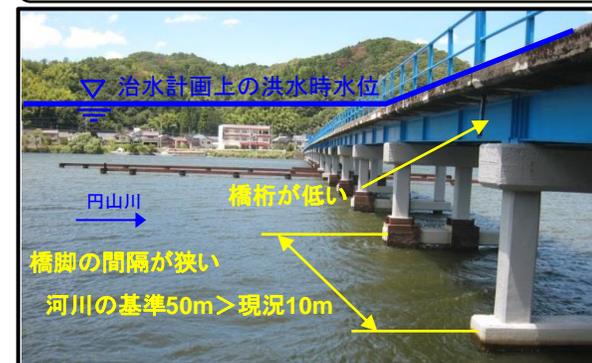
- ①旧橋は、築69年の老朽橋(S31架設)で幅員が狭い上、大型車の重量制限(10t)を行っている。
- ②橋脚の間隔が基準より狭く(基準50m 現況10m)、低い橋桁が洪水の流下を阻害している。
- ③公立豊岡病院(三次救急医療機関)へのアクセスを強化する。
- ④事業中の山陰近畿自動車道 城崎道路の(仮称)城崎温泉ICへのアクセスルートであり、利便性の向上を図る。

現況写真

①老朽(鉄筋露出)、幅員狭小



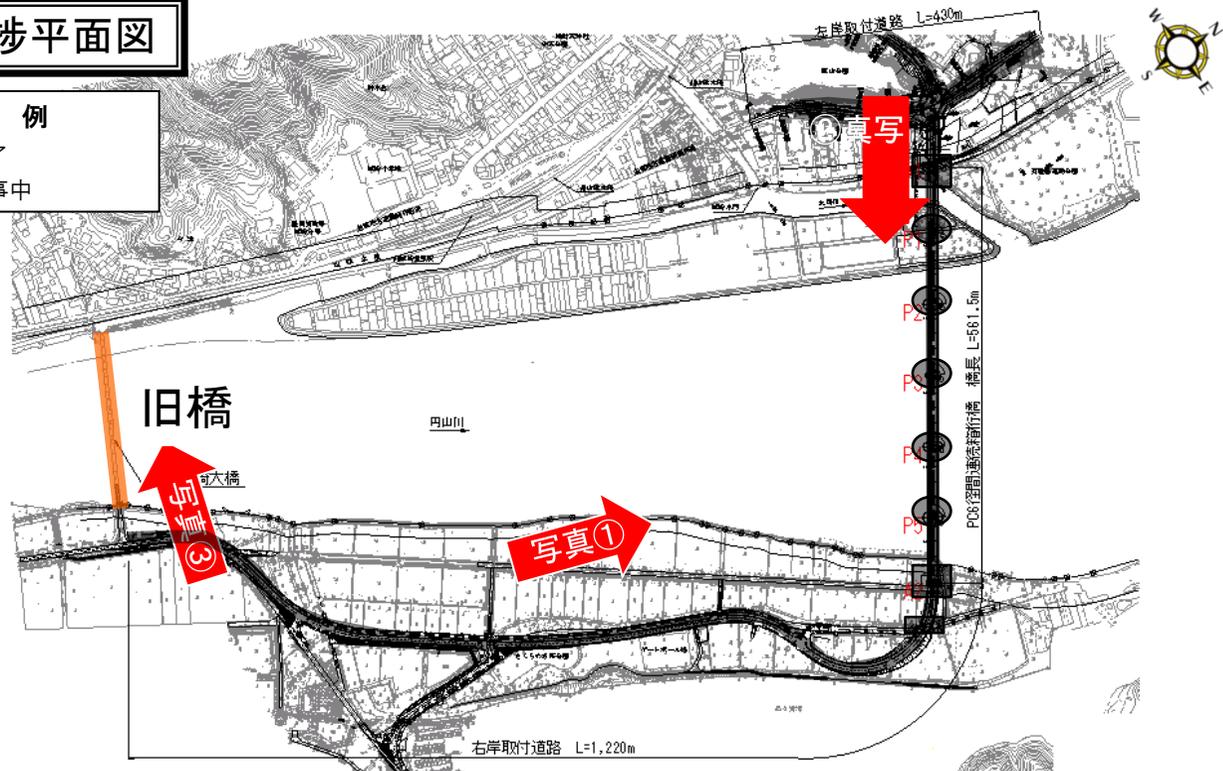
②洪水流下の阻害



進捗状況

事業進捗平面図

- 凡例
- : 完了
 - : 工事中



①橋梁部



②供用済みの城崎大橋



工程表

- : 前回(R2)
- : 実施・計画

進捗率: 95% (用地進捗率: 100%)

※令和7年3月末見込

工種	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
用地補償					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■												
橋梁工事																	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
取付道路																		■	■	■	■	■	■	■	■			
旧橋撤去工事																										■	■	

③旧橋



事業の有効性・効率性

(1) 費用対効果

① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
① 走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無し of 走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{走行時間}) \times \text{時間価値原単位} \times 365\text{日}$
② 走行経費減少便益 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無し of 走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{距離}) \times \text{走行経費原単位} \times 365\text{日}$
③ 交通事故減少便益 交通事故が減少することによる便益	整備無し of 事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額: $\Sigma[\text{交通量} \times \text{距離} \times \text{交差点以外の事故損失原単位} + \text{交通量} \times \text{主要交差点数} \times \text{交差点部事故損失原単位}]$

② 費用便益費(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)			C(費用)			B/C	
		便益額 (百万円)	代表的な 効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)			
道路	主要地方道 豊岡竹野線	全体 事業費	① 走行時間短縮便益	28,630	計画交通量: 8,600台/日	27,183	27,058	125	1.2
			② 走行経費減少便益	3,206					
			③ 交通事故減少便益	540					
			計	32,375					
		残 事業費	① 走行時間短縮便益	28,630	計画交通量: 8,600台/日	1,066	941	125	30.4
			② 走行経費減少便益	3,206					
			③ 交通事故減少便益	540					
			計	32,375					

(2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等	
(災害時) ①安全安心の確保	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 (※緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備)	○	公立豊岡病院(三次救急医療機関)へのアクセス機能の向上
	救助・救援活動の支援 (※災害時の通行不能や孤立集落の解消)	○	(主)豊岡瀬戸線の代替機能の確保
	減災対策への取り組み (※二重堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保)	○	障害橋梁撤去に伴う河川氾濫の危険性低下
(平時) ①安全安心の確保	救急医療体制の支援	-	-
	交通安全対策	○	歩道の整備による歩行者の安全性確保
②地域の活性化	地域間交流の促進	○	城崎町と京丹後市のアクセス改善による交流の促進
	中心市街地の活性化	○	主要観光地「城崎温泉」へのアクセス性向上による城崎町中心市街地の活性化
	地域産業の活性化	-	-
	観光支援	○	城崎温泉へのアクセス性向上による観光振興
	地域プロジェクト等支援	○	コウノトリの生息環境に配慮した橋種選定
③円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	-	-
④地域の環境改善	沿道環境の改善 景観形成	○	橋梁上の構造物が少ないなど架橋位置を考慮した景観形成

(3) 地域からの要望状況等

要望状況等	地元住民で構成する「城崎大橋架橋・桃島バイパス整備促進期成同盟会」による「城崎大橋早期完成・桃島バイパス早期工事着工促進大会」が令和6年に開催された。
-------	---